

木馬会会報 (第135号)

ダービー特集

00/05/24

～木馬達の予想～

本紙 へなりん

毎年書いているような気がするが、ダービーを迎えると本当に一年って早いものだとつくづく感じる。果たして充実した「お馬の一年」を送れたのだろうか…う～ん厳しいなあ。

さていつになっても目立つのは武豊の巧さだけである。スティンガー、ステイゴールドの重賞制覇に平場のヴァイタルトラック、インタープロテクト、そしてちょっと前だけ特に印象に残ったシャープウィット（やはり福永では駄目だった）…。ただただ感心させられるばかりです。今回のエアシャカールはあまり好きなタイプではないけれど、どう考えても逆らったら敗北あるのみ。皐月賞を勝った後の武豊の「一本指」はダービーも勝てるという自信と余裕の現れなのでしょう（3冠も夢ではない？）。果たして誰が、どの馬が武シャカールを止められるのか、今回の焦点はそれに尽きる。

どちらかというシャカール君は「長いい脚」タイプ（それに中山向き）だと勝手に思い込んでいるので、狙うならビシッと斬れる「鬼脚トリオ」レグルス・ダイアン・フライト以外にない。が、ゲートさえ無事に出てくれれば逆転一番手と見ていた鬼脚トリオの長男ラガーレグルスが再試験に落ちて出走できなくなった。誠に残念である。（「ざまあみろ」と一部の心無いファンから野次られ、佐藤哲ちゃんはかなり激怒して大変だったと新聞に書いてあった。）となると鬼脚トリオの残り2頭、次男のカーネギーダイアンと3男アグネスフライトにその分期待がかかる。皐月賞前にリズムを崩して心配されたダイアンだったが、青葉賞では見事に格の違いを見せ付けて快勝してくれた。ダービーに向けて体調ともに視界良好なのは間違いない。それに先週のオークスでもわかるように府中の2400なら藤田が最も信頼できる。コンコルド再現を期待したい。遅れてきた大物フライトの実力も恐ろしい。先週のグランバドゥと若干イメージがダブらないこともないが、府中ならこの馬の威力が更に増すとみて河内を信じる。

あとは1000M通過が63秒といった先週のような超スローペースだけは勘弁して欲しい。まあそれも競馬なのだが。

◎カーネギーダイアン、エアシャカール

△アグネスフライト、ジョウテンブレヴ、△ダイタクリーヴァ

ラッキー

◎…エアシャカール、カーネギーダイアン

△…ダイタクリーヴァ、アグネスフライト、ジョウテンブレヴ

（ラッキー桑島の見解）

（今年の傾向）

今年も日本ダービーがやって来た。

世代の強豪達が、相次いで脱落していき、皐月賞は非常に低レベルの争いであったが、その中で連対した2頭の実力が抜きん出ているように思える。エアシャカールとダイタクリーヴァは、それぞれ騎手が完璧に騎乗し、直線で素晴らしい叩き合いを見せてくれた。現在の完成度から見て、皐月賞組では、この2頭を負かす馬はいない。そこでトライアル組であるが、例年勝ち馬は「関西の秘密兵器」とか「遅れてき

た大物」といわれて、本番で穴人気になり秘密のまま終わってしまうのが常だが今年はちと違う。何故なら青葉賞を勝ったカーネギーダイアンは秘密でも遅れてきたわけでもないからだ。朝日杯3歳Sに出走していれば恐らく1番人気になっていたであろう伝説の3歳最強馬が復活したという意味で例年のトライアル組とは同一視できない。

（レース展開）

今年のダービーは、TVホース不在でスローペースが予想される。青葉賞同様、岡部のタニノソルクバーノがボンと出れば、鼻を切るだろうが、パープルエビスやジーティボスが鼻でもハイペースは望めない。団子状態の集団の後方に位置した豊のエアシャカールが、大櫓の向こうからマクリを決めてしまえば圧勝するであろう。ただスローになれば距離適正は関係ないので、切れるダイタクリーヴァは、内をすくえばチャンスが出てくる。

豊&エアシャカールの唯一の死角は、ペースが乱れた場合、抜け出した後に足元をすくわれる時である。豊&ダンスインザダークを藤田&フサイチコンコルドが鮮やかに差したように、藤田&カーネギーダイアンが再現を狙う。兄弟子河内もアグネスフローラの子供で、一発狙ってくるだろう。豊の仕掛けが早ければ、エアシャカールの2着も危ういが、最近連発している神業とも思えるマクリや昨年のダービーでのアドマイヤベガの仕掛けのタイミングを見ると豊に死角は無い。

（決断）

第67代日本ダービー馬には、エアシャカールが戴冠する。豊が乗っている限り、4歳では最強である。アメリカ進出の置き土産に日本ダービー三連覇の不滅の金字塔を打ち立てるであろう。日本ダービーの参考レースとしている弥生賞で圧勝したフサイチゼノンや見所のあったラガーレグルスは涙をのんだ。上位3頭で唯一晴れ舞台に立つ。日本ダービーは運の良い馬が勝つ。3冠に手が届かなかった姉の無念を弟が見事に晴らすであろう。

相手本線は、復活した「3歳最強馬」カーネギーダイアンにのってみる。「神様藤田」が珍しくというか似合わないというか「一番人気」でG1を制したツキにのらない手はない。府中のクラシックディスタンスに再び稲妻が走る。欧州の秘宝サドラズウェルズの系譜と世界を圧倒するミスタープロスペクターの配合である。走らない訳がない。

連下には、スローのインを絶好のタイミングですくえばダイタクリーヴァも捨て切れない。フジキセキ産駒を見ていると皐月賞（2000M）の2着が限界とも思えるが確実に切れる脚は混戦では魅力である。SSの最高傑作であった父の無念を晴らす舞台は整った。

今回「関西の秘密兵器」であるアグネスフライトは、若草S組が青葉賞で大敗している関係から、カーネギーダイアンにはかなわないと思えるが、ラッキー桑島が初めてみた桜花賞での母の勝ちっぷりが忘れられず、また愛馬ウィンエルシエロを2戦続けて並ぶ間もなくぶっちぎった恨みから押さえておく。母のオークスでの無念を晴らし、そして母仔3代クラシックホースの夢を実現せずにはいられない。

そして最後は、よせばいいのにジョウテンブレヴ。ただし、この馬府中の2400mで化けても何ら不思議でない。なにせ「関東の3歳最強馬」であった上に左周りは8分の仕上がりで東スポ杯3歳Sを圧勝した過去がある。こちら愛馬マイネルトランプを並ぶ間もなくぶっちぎった恨みから押さえておく。

早くにこの世を去った欧州最強馬の遺伝子が500mの直線で爆発する。キングヘイロー、エリモシッ、そしてグリーンプラネットのように。

トーハウシデンは、印が回らないので無印だが将来性は一番だと思う。ブライアンズタイムにブラッシングルームの配合は、4歳秋から5歳にかけて爆発するだろう。菊花賞、有馬記念、天皇賞・春、宝塚記念とどれだけ勝つか楽しみである。

今週の格言…日本ダービーは運の良い馬が勝つ

(ラッキーのおけら街道)

頑張れラガーレグス、あきらめるな。レガシーワールドは〇〇〇〇切られる前は、パドックでレースが終わっていた。切った後も返し馬はしたことがない。しかし世界に誇るゴシックプリンターになった。

メジロブライトも単勝馬券を買った宝塚記念で何の恨みかゲートで暴れまくった。しかし天皇賞馬だ。みんな暴れて大きくなった。

まってるぞ!!ラガーレグス

～ライスシャワシャワの予想はよそう～

◎：エアシャカール、○：ダイタクリーヴァ、▲：カーネギーダイアン

△：アグネスフライト、ジョウテンプレヴ、アトラクシア

いよいよダービーである。依然調子は上がらないものの、春はダービー、秋は有馬を取れば、ある程度は気分良くシーズンを終われるものだ。

本命はエアシャカール。皐月賞の勝ちっぷりを見る限り仕方ないだろう。首差ダイタクに先着しただけであるが、エアは小回りの中山で道中15番手から一マクリ。ダイタクが先行していただに、決め手は着差以上のもの。これが府中ならばもっと楽に差し切れると見る。弥生賞で見た入れ込みも皐月賞ではある程度許容できる範囲にまで変わったと思う。姉エアデジャヴーはオークス2着馬であり、陣営としても皐月賞よりはダービーという思いがあったようで、武のダービー3連覇の偉業が簡単に思える馬である。

オークスはシルクプリマドンナ・チアズグレイスが1・2着。トライアルでどんなに鮮やかに勝っても、所詮はトライアル。クラシック本流を通ってきた馬のほうが力は上ということだろう。◎にしたマヤノメイビーも超スローであの位置取りではとても差し切れるわけではないのだが、スーパー競馬で吉田均も入れ込みが気になるとパドック解説していたにしても、ようは実力の違いだろう。GIはそれほど甘くないということは今更ながらに知らされた。

ということで、エアの相手には○ダイタクリーヴァ。マイルGにも登録したことからも、距離がどうのと言われているが、ぎりぎり我慢してくれると信じたい。パープルエビスやマイネルブラウあたりがレースを作るのだろうが、そうそう速く流れるとも思えないし、むしろスローペースの確率が高いだろう。ある程度前でレースができるし、皐月賞の3着以下は千切ったわけだから、少なくとも皐月賞組に遅れることはあるまい。

オークスと違い、各馬とも勝負付けは済んでいるように思えるが、最大の惑星はアグネスフライト。確かに父SS×母アグネスフローラと良血中の良血。もちろん距離も大丈夫だろうし、若草S・京都新聞杯の勝ち方がこれまた強烈。普段ならこれだけで◎にするところだが、ここは冷静に。一線級と当たってないんだよなあ。若草Sよりも京都新聞杯では更にキレたし、時計も文句無し。あれだけの脚を使うんだから府中に変わればどうなることかと、期待のほうが大きくなるが、この手の馬でいつも失敗している。今回は自重。裏街道と言えはそれまでだし、相手も弱かったはず。勝たれたら仕方ないと開き直って△まで。

これなら青葉賞を勝ったカーネギーダイアンを上位と見てこちらを▲。デビューから連勝した時点でク

ラシック候補と言われた馬。休み明け2戦は凡走したが、青葉賞で復活。スバッと切れた感じはしなかったが、追っての味はあったと思う。京都新聞杯は中2週だが、こちらは中3週。輸送してるとは言え、ローテ的はまだ余裕がある。コース及び距離を経験してるのも強みだろうし。

以下、中山より府中が絶対にいいはずのジョウテンプレヴと、アグネスフライトと同じような感じで皐月賞時は飛びついて失敗したアトラクシアも△に追加。どちらもまだ見限れない。

栄蔵の一番弟子 TP

オークスとダービーを検討する上での違いは、オークスでは完成度を重視するのに対して、ダービーでは完成度+距離適性を重視しなければいけないことだ。過去10年の連対馬のうち、皐月賞直行組でない馬の血統を見てみるとマルゼンスキー×ダンサーズイメージ(レオダーバン)、リアルシャダイ×マルゼンスキー(ライスシャワー)、トニービン×ニジンスキー(エアダブリン)、カーリアン×サドラズウェルズ(フサイチコンコルド)、サンデーサイレンス×ニジンスキー(ダンスインザダーク)ブライアンズタイム×サティンゴ(シルクジャスティス)と、父はもちろん、母の父まで見事なまでに中長距離系の血統である。3着まで対象を広げてもその父はシービークロス(ホワイトストーン)、タケシバオー(イデセゾン)、ミルジョージ(ヤシマソブリン)、アンバーシャダイ(メイショウジュニエ)、リアルシャダイ(ダイワスベリアー)と完璧といえるほどの中長距離血統。皐月賞直行組以外は完全な中長距離血統でなければ連に絡めないと断言しよう。

では、トライアル組の血統診断からいこう。最もレベルの高かったレースは青葉賞。ついで京都新聞杯、プリンシパルの順。トライアル組は勝っていることが絶対条件になる(例外はライスシャワーただ1頭)。カーネギーダイアンは父が新種牡馬カーネギー。カーネギーはリヴァーマンの肌にサドラズウェルズで、長距離に強い可能性は大いにある。しかし気になるのは母の父ミスターブロスペクターである。母の父ミスプロで中長距離の重賞を勝っている馬は記憶にないぞ。アグネスフライトは見事な差し足で、走りも重心が低く、かなりの能力を秘めていることは間違いない。父SSは問題ないが、桜花賞馬の母、母の父ロイヤルスキーは決して中長距離系ではない。トーハウシデンはブラッシングルームにブライアンズタイムでこれは文句ないだろう。

血統はこれくらいにしてデータから探ってみよう。過去10年、2月以降のデビュー馬の連対はない。距離適性が重要視されるとはいつても、やはりこの時期では完成度も大きな割合を占めることを裏付ける。1月5日デビューのダービー馬フサイチ、1月10日デビューの3着馬ダイワスベリアー。過去10年5着に入った馬でさえ、この2頭だけである。1月を基準にしても良いのだが、あえて2月デビューとしているのはデータをさらに完璧にするためでしかない。

さて皐月賞組。勝ったエアシャカールだが、私はその不器用な脚質、武の騎乗振りから見て皐月賞はともかく、ダービーを勝てるように育成していると考えていた。皐月賞で5、6着に負けて、ダービーで人気を落としたところで(落ちないかもしれないが)狙い目とっていたのだ。それが勝ってしまったのだから、他の馬との力の違いが、もう皐月賞で出てしまったと考えるしかない。血統的にも何ら問題なく、武の3連覇は80%間違いない。2着のダイタクだが、父フジキセキはまだ未知数な部分があるが、母の父ユタカオーは完全に中距離馬で、それが各誌にこぞって距離不安を唱えさせているのだが、皐月賞での3着との2馬身半差は他馬との完成度の違いに他ならない。4着ジョウテンは母の父ロイヤルスキーはアグネス同様不安だが、父ダンシングプレヴは長距離系だし、弥生、皐月と4着でそこそこのレースをしての叩き3戦目で上がり目も望める。

と、言うことで結論。トーハウシデンは2月末デビュー及び最もレベルの低いプリンシパルであっぶあ

っぷで、とてもじゃないが印はいらないということで、5頭に絞れるので2頭軸にしよう。エアは文句なく◎。80%の確率で勝てるだろう。もう1頭の軸は完成度ならダイタクだが、距離適性と騎手の腕でジョウテンが同等レベル。それなら人気のないほうのジョウテンを軸にしよう。一応3番手にダイタクだが、馬連的にはエアとの1点でも良いと思っている。この3頭で80%決まると思う。カーネギーは母の父が大きく不安。アグネスは間違いなく3番人気になるだろうが、毎回の出遅れがどうか？出遅れて勝つほどの力と完成度はない。二月以降デビューは5着にすら入っていない事実、極端なレースしか出来ないなど不安材料が多く、せいぜい3着という結果が目に見える。あえて穴を挙げれば今のところ出走できないがエリモブライアン。皐月賞は3着と差のない6着。血統もマルゼンスキーの肌にはブライアンズタイムと問題ない。出走できれば流してみたい。

◎…エアシャカール、ジョウテンブレイヴ

○…ダイタクリーヴァ △…カーネギーダイアン、アグネスフライト

今週は初めての中京突撃。楽しみだ。できるだけ回収率が下がらないようにがんばらないと。現在の回収率91.6%

僕の予想は穴だらけ：メニーフレンズ

この10年のダービーで、1番人気がきっちり勝ったのにもかかわらず、2着に人気薄が来て万馬券になったケースが2回ある。平成4年のミホのブルボンライスシャワー、平成10年のスペシャルウィークーポールドエンペラー、である。前者は逃げー逃げ、後者は差しー差し、で似たような脚質。やはり、1番人気をマークした他の人気馬がつぶれ、無欲に「2着狙い」で1番人気の後方から来ている馬が着を拾うようだ。

そこで、今回、1番人気が予想される「エアシャカール」と

- 1. ほぼ同位置から競馬し、
- 2. 人気薄で、
- 3. 東京コースに実績のある馬、

ということで、今回も皐月賞同様、私の本命はリワードファコン。

ちなみに平成4年、平成10年とも馬場は「やや重」であった。お天気はどうかなあ。

◎リワードファコン、○エアシャカール

△アグネスフライト、オースミコンドル、カーネギーダイアン、ジョウテンブレイヴ、
ダイタクリーヴァ、プラントタイオー

予想はウソヨ 四国の井崎

〆切が水曜日12時なので厳しいなあ。最終的な予想が変わるかも知れないことを断った上で投稿します。タイム評価を厳密に順位付けしてみました。

	3走前	2走前	前走	
1600万級				
エアシャカール	-3.4	+0.0	+0.5	A
ダイタクリーヴァ	-0.2	-0.2	+0.5	B
アグネスフライト	-1.5	-1.9	+0.7	C
900万級				
ジョウテンブレイヴ	+0.0	-1.0	+0.1	

マルカミラー	-0.9	-0.4	+0.2
500万級			
パープルエビス	-0.2	-0.3	-0.2
ジーティーボス	-0.1	-0.5	-0.9
トーホウシデン	-2.1	-0.8	-0.1
オースミコンドル	-1.2	-0.8	-0.2
カーネギーダイアン	-1.0	-1.2	-0.3
アタラクシア	-1.3	-0.4	-0.5
プラントタイヨオー	-0.4	-0.5	-0.6
マイネルブラウ	-0.7	-0.4	-0.8
タニノソルクバーノ	-0.7	-0.7	-0.5
クリノキングオー	-1.4	-0.3	-1.6

上位3頭が抜きん出ていますが、やはりエアシャカールでしょう。最近のダービーは18頭立てとなつてからは人気どおり決まります。特に皐月賞上位組が人気の時は信頼できる。1人気確実なエアシャカールには死角らしいものが見あたらない。武騎乗サンデー産駒1人気馬のスペシャルウィークが勝った時かダンスインザダークが2着に負けた時のいずれかのパターンで決まるのではないのでしょうか。

穴狙いなら、前者の場合オークスのようにワイドで、後者の場合単勝でしょう。ワイドの穴馬としてパープルエビスを、単穴としてジョウテンブレイヴを挙げておきます。本日の予想はここまででやめておきます。

◎◎◎ エアシャカール 信頼の連軸（単はひょっとして危ないかも？）

第67回 ダービー

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
ヤマニンリスベクト	エリモブライアン	クリノキングオー	リワードファコン	マルカミラー	ジーティーボス	マイネルブライアン	プラントタイヨオー	アタラクシア	マイネルコンドル	パープルエビス	アグネスフライト		オースミコンドル	トーホウシデン	マイネルブラウ	タニノソルクバーノ	カーネギーダイアン	ジョウテンブレイヴ	ダイタクリーヴァ	エアシャカール	馬名
	的場	幸	後藤	福永	吉永	北村宏	小野	四位	伊藤直	石橋	河内		武幸		横山典	岡部	藤田	蛭名	高橋亮	武豊	騎手
											△						◎	△	△	◎	へなりん
											△						◎	△	△	◎	ラッキー
								△			△						▲	△	○	◎	ライスシャワー
					△			▲			△							△	○	◎	心配御無用!
								△			○			△		△	△	△	△	◎	トウカイテイオー
											△						△	◎	○	◎	TP
												△					◎	△	△	◎	おけらくん
								△			△						◎		◎	△	ミスターX
			◎				△				△		△				△	△	△	○	マイネルズ

次号は安田記念号です。